

ホンダP2

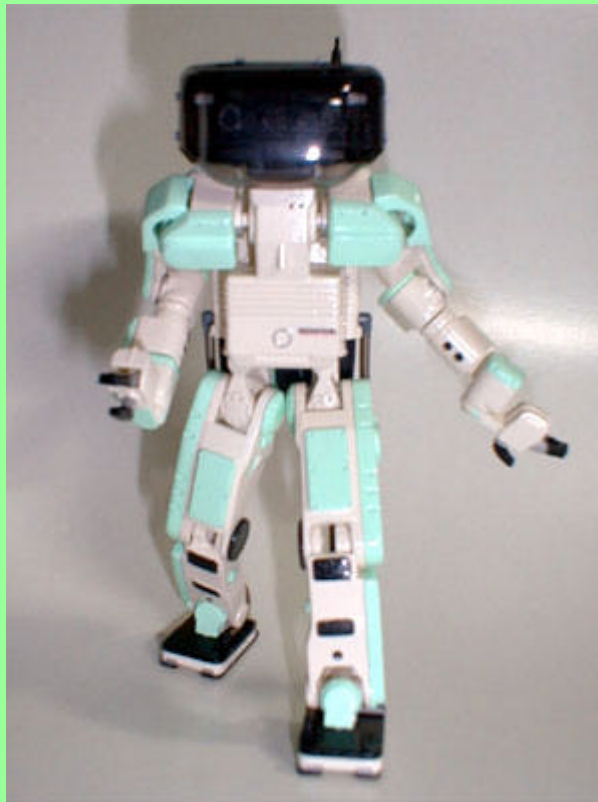
ウェーブ 1/12スケールプラスチックキット

製作・文 政府開発援助

1. P2について

P2は自動車メーカーのホンダがおよそ10年の歳月を費やして研究開発した、世界初の2足歩行人型ロボットです。その最大の特徴は自律歩行（「すり足」ではなく、足を上げて倒れないように重心移動をさせながら歩く）ができる事でしょう。（詳細は(株)ホンダWebページを参照）

その意義を後世に、より多くの人々に伝えるためにガレージキットメーカーのウェーブからプラモデルが発売されました（余談ですが、このプラモデルの企画担当者は私の大学の後輩です）。アポロ宇宙船やスペースシャトルと同じように、その姿を眺めて科学の進歩に思いを馳せ、手に取って動かすことで先人の労苦を偲ぶことができるのです。



2. 製作について



キットは多色成型のはめ込み式となっており、模型製作の経験が余りない人でも完成品を手にすることができるよう配慮されています。より精密なP2にしたい場合には付属の写真資料（貴重な写真が多く、これだけでも一見の価値あり）を活用することになりますが、今回は重箱の隅をつつくような追加工作は行わず、一部パーツの後ハメ加工を除いては素組みして継ぎ目の処理のみしています。

組立時に気になったのはパーツ表面のヒケで、500番のペーパーでヤスってもまだ残るところが結構あり（青いパーツに特に目立った）。グンゼのサーフェーサー500（筆塗り用）を用いて面を整えています。元々がスナップキットなのでパーツをはめ合わせた後モデラーズの流れ込み接着剤で接着していきましたが、左右どちらかの脚でダボ通りに組むとズレが大きくなる箇所がありダボを切り飛ばしてしまいました。もう一ヶ所、頭部の左右パーツで1ミリの近い段差があり、非常に手間取りました。全般的な留意点として、はめ込み式のためか樹脂がやや柔らかいのでえぐってしまわないよう気を付ける必要があります。また、腕の関節が細かくて複雑なので、組立やポーズ換えの時に壊さないように（実は一度割ってしまった）。

3. 塗装 仕上げについて

工作がストレートなので、塗装は実機の再現ではなくオリジナルで行うことにしました。主にラッカー系カラーを用いています。

全体にグンゼのMr.ベースホワイトM000を吹いた後、基本色のホワイトの部分はモデルズのアイボリーホワイトを缶スプレーし、実機でスミレ色?の部分はペパーミントグリーンを調合(白+蛍光クリスタルグリーン少量+クリアブルー数滴)して筆塗りです。ちょっと「センチネル」っぽくしてみました。ブラック・グレイ(ニュートラルグレイを使用)、黄色(足裏)の部分を筆塗りした後、グンゼのスーパークリアを吹き(ツヤを整える積もりでしたがちょっと失敗してしまい悲しい)、最後に細部(ツメ・金属パーツ・インジケーター等)をエナメル系カラーで塗っています。

スケールが大きいので、スミ入れは行わず様子を見ることにしました。尚、ロゴ等はキット付属のシールの余白をぎりぎりまで切って貼り付けていますが、前述の様に実機の再現ではないので控えめになっています。

